

## 目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【旭区】(受託者等:地域運営アドバイザー業務非常勤嘱託職員)

		区の考え方等
1 地域課題・ニーズ等の状況について		平成27年推計の65歳以上の人口比率が29.8%(24区中4番目)と高齢化が進んでおり、災害時に支援が必要な区民への対応が求められている。  近年、25歳から39歳台の人口減少が顕著で担税力のある世代が減っているため、賑い創出や地域活性化に不可欠な若い世代の定住促進が望まれている。
2 当事業によりめざす状態	校区等地域において、各種地域団体等の多様な主体が、地域社会の将来像を共有しながらそれぞれ特性を發揮し、校区等地域におけるさまざまな地域課題の解決に取り組めるような状態	【現在の状況】 ・達成:概ね3地域
3 当事業の目標		
(1) 中長期の目標	(ア)自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)の第3ステージの各項目のうち、6項目を達成	【現在の状況】 ・達成:概ね3地域 未達成:7地域
	(イ)校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている割合 60%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 42.9%(①そう思う 10.9% + ②ややそう思う 32.0%)
	(ウ)地域活動協議会が課題やニーズに応じて支援を受けていると感じている割合80%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 62.6%(①そう思う 11.5% + ②ややそう思う 51.1%)
(2) 平成29年度目標		
ア 「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」	形成済の全地域活動協議会について、第2ステージ全項目達成	【現在の状況】 ・達成:概ね10地域 未達成:0地域
イ 利用者アンケート調査		
(ア) 自律的な地域運営	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている割合 50%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援により、皆さんの地域において、支援を受ける前よりも自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか。(問4) 42.9%(①そう思う 10.9% + ②ややそう思う 32.0%)
(イ) 中間支援組織の活用	地域活動協議会が課題やニーズに応じて支援を受けていると感じている割合50%以上	【現在の状況】 まちづくりセンターの支援は、地域の皆さんの活動に役に立ちましたか。(問1) 62.6%(①そう思う 11.5% + ②ややそう思う 51.1%)

		区の考え方等	
	ウ 区独自 目標(仕様 書記載)		【現在の状況】
			【現在の状況】
	エ 区独自 目標(協議 により設定)		【現在の状況】
			【現在の状況】
4 地域活動協議 会の状況につい ての分析  上記2・3の【現在 の状況】及び評価 資料等を踏まえ分 析	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域課題やニーズに対応した活動を実施しようとする動きが出ている。(地域のニーズを把握するための全世帯アンケートを実施したり、地域の課題解決と活性化を目的とした有志の会が、地活協の中で部会を横断して設立されたりと、地域自らが変わろうとする動きは見受けられる。)</li> <li>●自主財源の確保について、地域でも検討されつつある。(コミュニティ回収及び民間助成金への関心が強まっている。)</li> <li>●地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、より効果的な広報活動が必要。(専門的な知識を有する担い手の発掘等により、広報事業が大きく進展するといった大きな成果に繋がっている地域もある。)</li> <li>●構成する活動主体同士の連携・協働【地域活動協議会内部】が進んでいる。(構成団体相互の関係づくりが進み、新たな事業の創出(生江ハロウィン祭り)、新たなボランティア団体の設立(城北SVS)といった動きは出ている。)</li> <li>●他の活動主体同士の連携・協働【外部との連携・協働】が進むような具体的な取り組みが必要。(防災というテーマを通じて、学校園及び事業所等との連携が強まりつつある。)</li> </ul>		
5 当事業による 支援の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域課題やニーズに対応した活動が実施できるよう支援する。</li> <li>●地域活動に関わりが薄かった住民の参加促進につながるよう、より効果的な広報活動が実施できるよう支援する。</li> <li>●他の活動主体同士の連携・協働【外部との連携・協働】が進むような具体的な取り組みが生まれるよう支援する。</li> </ul>		
6 目標達成に向 けた戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>●上半期に開催した意見交換会で出た課題認識を踏まえ、各地域の先行的な取組み事例を共有する場を提供し、地域課題やニーズに対応した活動が、地域自らの企画の中で事業実施できるよう支援する。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページ・かわら版作成支援等による広報活動を促進(通年)しながら、「広報が担う役割、必要性」を再度認識してもらえよう支援する。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域カルテ」作成支援のためのワークショップを継続的に開催する中で、他の活動主体同士の連携・協働【外部との連携・協働】が進むような具体的な取り組みが生まれるよう支援する。</li> </ul>		